

福島学院大学 出前授業一覧

マネジメント学部 地域マネジメント学科で実施している出前授業一覧です。

ご希望の方は[「出前授業申込フォーム」](#)よりお申し込みください。

他学科による出前授業を希望する方は、[「お問い合わせフォーム」](#)よりご連絡ください。

※担当教員の氏名をクリックすると、プロフィールをご覧いただけます。

分野	No.	授業名	授業内容	担当教員
政治学	1	政治に参加するって どういうこと？	政治とは堅苦しいもの、というイメージがあるかもしれませんが、根本的には、みなさんのクラスや部活動、クラブなど、身近なところでも起こっている現象でもあるのです。どうい うところが政治なのか、一緒に考えてみましょう。	竹田香織 講師
	2	“多数決”で決めるのが 一番よい方法？	意思決定をする際によく使われる多数決。多数決の結果がも っとも「よい」結果だといえるのでしょうか？多数決の持つい いとこと難しさについて、それから選挙のしくみについて も、一緒に考えてみたいと思います。	竹田香織 講師
	3	ジェンダーの視点から見た政治と 社会はどんなふう？ (別題：日本に女性の総理大臣が 誕生する?!)	「ジェンダー」という言葉について、どんなことを知ってい ますか？少し意識してみると、政治の世界も今の社会も、そし て身の回りのことも、これまでとは違ったふうに見えてくる かもしれません。当たり前のように、実は当たり前では ないことについて、一緒に考えてみましょう。	竹田香織 講師
	4	インターネット投票は実現する？ ～投票の仕組みを知ろう！～	政治に携わる機会としての投票の仕組みを説明するととも に、「どこでも投票」ができるインターネット投票の先進事例 を踏まえ、「どこでも投票」が実現するためにはどんな課題が あるか考えてみましょう	茨木瞬 講師
会計 ・ 経営	5	DX と IT 化の違い	DX の事例として ERM(統合型リスク管理)を取り上げます。 これは 組織体に発生するあらゆるリスクを統合的・包括的・ 戦略的に把握・評価・最適化し、価値最大化を図るリスクマネ ジメント手法であり、IT 化とは質的に異なるシステムの導入 を意味します。	浅野清彦 教授
	6	マーケティングは なぜアメリカから生じたのか	19 世紀末に、当時の最先進地域であるヨーロッパではなく、 いわば周辺地域のアメリカにマーケティングが登場した理由 を考えることによって、他社のシェアを奪う体系的経営技法 としてのマーケティングの本質に迫ります。	浅野清彦 教授
	8	AI 時代の会計って、 どんな仕事？	会計は、会社や社会のお金の流れを「見える化」する、大事な しくみです。今、AI の進化によって、会計の仕事もどんどん 変わってきています。AI は、大量のデータを分析して、人が 見逃すようなことまで見つけてくれます。でも、その結果を どう使うか、どう判断するかは、やっぱり人間の役割です。会 計はこれから、AI と一緒に未来をつくっていくためのツール になります。今日は、そんな「未来の会計」について、みなさん と一緒に考えてみましょう！	鳥飼裕一 教授

数学	9	数学で解決！ 在庫管理の秘密 ービジネスの裏側を探るー	経済や経営において、複雑な問題を解決するために数学的手法が用いられます。例えば、市場動向の予測や経営戦略の立案に不可欠です。模擬授業を通して、これらの実例を示し、数学の重要性から経済学や経営学の魅力を概説します。	鈴木忠雄 准教授
	10	大学で学ぶ経済・経営 ー授業・資格・就職の解説ー	大学で学ぶ経済学・経営学は高校の政治経済とどう違うのか、そして、経済学と経営学の違いのポイントは何かを解説します。また、経済学・経営学では数学が活躍することなどに触れます。最後に、目指せる資格や就職先についても概説します。	鈴木忠雄 准教授
	11	迷惑メールは統計学で 止められる!? ーデータサイエンス入門ー	スマホに届く迷惑メール。実は「ベイズ統計」っていう考え方で見分けているって知っていましたか？「確率」をもとに判断してくれるこの仕組み、実は AI や医療にも使われているすごい技術！ 数学がちょっと好きになる、そんな体験型の入門講座です。	鈴木忠雄 准教授
社会的な インフラ	12	地域のひとびとを支える 鉄道について考える	人口減少やマイカー普及の中で、サービスの存続が難しくなっている地域の鉄道について、経済学・経営学の視点から考えます。併せて、同じように経営が厳しくなっているバスサービスのことや、その維持の切り札として注目されているバスなどの自動運転についても触れます。	寺田一薫 教授
	13	産業活動と暮らしを支える貿易と 港のことを知る	現在では、工場などの生産活動もわれわれの消費活動も海外からの輸出入に大きく依存しています。日本では、輸出入品の大部分は船によって運ばれていて、港で積み降ろしされています。社会や経済にとって重要な貿易と港の関係について、経済学の視点から解説します。	寺田一薫 教授
SNS 利用 と 地域づくり	14	若者の社会参加と SNS	10代・20代の SNS 利用はどこの国でもとても高い。利用のパターンや目的も様々である。日本でも若者の SNS を利活用した地域活動・社会参加・グローバル情報発信が増えてきている。SNS を利活用した地域活動が自分や地域の未来にどのように繋がり、楽しみを求めているのかを他の国・地域で活動する若者を事例に基づいて考えてみたい。SNS 利用にはプラス機能ばかりではなく、マイナス影響もあるので、上手に使いこなす方法も考えてみたいと思います。	高選圭 教授
K-POP の 人気の秘密	15	K-POP と 韓国の若者文化の理解	BTS・BLACKPINK・SEVENTEEN などに代表される K-POP アイドルは日本でも人気が高い。K-POP アイドルの音楽世界・曲の作り方・人気秘訣などを韓国文化・グローバル文化の共通性との関連性から考えてみたい。ファンクラブ活動の楽しみ・活動内容・それが持つ個人や社会的意義それからグローバルの繋がりから考えてみたい。	高選圭 教授

地域づくり グローバル	16	自治体公務員になって 地域づくりをどう進めるか？ これから期待される 地域リーダーシップ	自治体公務員としての実務経験と、その後米国のシティ・マネジャー研究を経て、現在、国内外に開かれた自治体・地域づくりの教育、研究を行っています。この経験を活かして、今後に必要な協働の地域づくりとそれを担う地域リーダーシップの理念と方法について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。	遠藤哲哉 教授
	17	地域づくりは面白い！ 関係人口を増やして、 都市と農村、海外をつなぐ	人口減少、過疎化が止まりません。如何にして、市民が生き甲斐のある地域生活を送っていける協働の地域づくりが可能か。継続的に地域と関係を持ったり、二拠点生活をやってみるなど、都市と農村、さらに海外との「ごちゃ混ぜ」交流体験で、多文化共生の経験によるネットワーク形成(関係人口の増)から検討していきます。	遠藤哲哉 教授
	18	海外に友達を作り、 ネットワーキングしながら 地域づくりのイノベーション！	自治体公務員として勤務後、米国を中心に国際比較研究を行い、海外にも多くの友人たちを作ってきました。そのネットワークと地域づくりを合体し、ユニークな取り組みを行う中で、生き甲斐ややり甲斐のある地域生活をどう送っていったら良いか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。	遠藤哲哉 教授
	19	学生が地域連携活動を通じて 地域に貢献・学べることは？	本学で行う地域連携活動を通じ、地元自治体や企業、住民の方々と一緒にどんな活動をし、課題を見つけ、解決するための活動・提案をしてきたのか、地域連携活動を通じて学生は何を学べたのか。実例を交えて説明します。	茨木瞬 講師
	20	福島でグローバルネットワー クづくりと国際交流活動	今我々はグローバル社会の市民として生きている。福島地域は世界から注目され、関心の対象でもある。福島から情報発信は世界中の人々から歓迎されている。今後益々、グローバル化は進んで行くので、その流れに合わせて福島地域から情報発信・グローバルネットワーク作り・広げるノウハウを皆さんと考えてみたい。実際に福島地域で国際交流活動を進めている方々・団体の内容を紹介しながら、国際交流活動が持つ意味発見してみたいと思います。	高選圭 教授
年金 ・ 公共財 ・ 税金	21	なぜ国の年金に加入しなければ いけないの？	物を買うか買わないか、生命保険に加入するかしらないかは、原則、消費者が自分で決めます。ところが、日本に住む人は、20歳になれば誰でも、国民年金に加入しなければなりません。その理由を皆さんと考えたいと思います。	木村陽子 教授
	22	タバコの税金はなぜ高い？	たばこ一箱の値段のうち、6割が税金です。最も税金の重い商品の1つです。 なぜタバコの税金が重いことに賛成ですか、反対ですか？一緒に考えてみましょう。	木村陽子 教授
	23	あなたは介護保険いる派、 それともいない派？	2000年に介護保険が誕生しました。介護離職や老後の不安など介護保険が誕生するまでの当時の状況を含めて、地域でどういう役割を果たしているのか、一緒に考えてみましょう	木村陽子 教授
	24	なぜ体によいキクラゲの消費 が伸びないの？	キクラゲは、整腸作用もあり、糖尿病などにも効き、体によいと言われていました。福島県でも、キクラゲ生産者が増えていますが、消費額は頭うちです。キクラゲを福島県の名産に育てるにはどうすればよいでしょうか。皆で考えてみましょう	木村陽子 教授